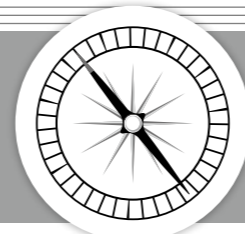


まちかど 特派員のページ



こうかまちかど特派員

うかい のりこ
鶯飼 典子



地域市民センター 東西南北



▲コンサート出演者とイルミネーション

年末年始を彩るイルミネーション 【岩上地域市民センター】

今冬も、岩上体育館前でイルミネーションを点灯しています。

12月3日の点灯式を迎えるまでは、岩上自治振興会の役員や多くのボランティアが休日にもかかわらずイルミネーションの準備を進めてきました。

点灯初日は、クリスマスコンサートも開催され、たくさんの地域の皆さんが点灯式を楽しみました。1月6日まで点灯していますのでぜひ岩上イルミネーションをお楽しみください。

直径1・2メートルジャンボ鉢植えが出現
【信楽地域市民センター】

信楽地域市民センターの玄関前に巨大鉢植えがお目見えしました。直径1・2メートル、重さ130キロのこの植木鉢は、昨秋の信楽まちなか芸術祭時に信楽駅構内で訪れるお客様の目を楽しませてくれたものです。

11月17日には、長野区園芸クラブの皆さんが紅白の葉牡丹14株を植えてくださいました。今後とも四季折々の花で彩られることとなります。



▲市民センターを訪れた姉妹とジャンボ鉢植え

山内自治振興会との交流事業 【甲南第三地域市民センター】

宮地区自治振興会と山内自治振興会は平成26年から交流事業を実施しています。今年も文化祭の相互交流として11月20日に開催された山内自治振興会のやまびこ文化祭で宮の特産品であるもち米・草もちなどを販売しました。また、会場内でもちつきを行い、つき上がったもちを来場された方に振舞いました。

用意していたもちもすくなくなりました。特産品の販売も好調で宮地区の良いアピールができ、山内自治振興会と親交が深まる1日となりました。



▲やまびこ文化祭でのもちつき

自主防災会の設立に向けて 【土山地域市民センター】

土山学区自治振興会安心・安全・環境部主催の講座が11月22日、土山中央公民館で開催されました。

これは、「自主防災会」の設立準備を進めている土山西地区の区民を対象に、市の出前講座を活用して、今回実施されたものです。

講演では、過去の大震災では多くの方が隣近所の方に救出された事例も報告され、改めて共助の大切さを知るとともに地域で互いの命を守る組織の必要性を再確認しました。



▲講座開催の状況

合唱の楽しみを「かふか」の地域に

11月20日、あいこうか市民ホールで開催された第39回かふか合唱祭を紹介します。

合唱祭を「存じ」ですか

かふか合唱祭は、甲賀市と湖南市で活動する16組の合唱団が一堂に会し、日頃の成果を発表する年に一度の合唱の祭典です。

朝9時頃から続々と集まってくる合唱団の皆さんは、午前中にロビーでの練習とステージリハーサルを行い本番への準備をします。午後から始まった本番では、きらびやかな衣装に身を包んだ合唱団がステージに登場し、数々の合唱曲を披露します。本格

的な合唱曲から耳なじみのある懐かしい歌謡曲、ポップスなど、聞き飽きない曲目と楽しませる演出で観客を魅了していました。招待演奏では、水口高校吹奏楽部の生徒さんも歌っていたいただき、合唱の楽しみを存分に味わえる1日でした。

総勢100人以上の大合唱

プログラムの中ほどには、この合唱祭の主催団体である「かふか合唱協会」が希望者を募って結成した合同合唱があり、100人以上がステージ



▲水口高校吹奏楽部による招待演奏

に並んで大合唱を聞かせてくれました。この合同合唱は、夏頃から3回のワークショップを開催し、練習してきました。個々の合唱団では味わえない、大人数で行う合唱の醍醐味を体験できる大きな楽



▲100人以上が大合唱した圧巻のステージ

しみになっているようです。今年は、誰でも一度は歌ったことがある「大地讃頌」を演奏されました。圧巻のステージに客席からも思わず歌声が上がるくらい、会場全体が盛り上がっていました。

来年は40周年

甲賀郡の時から続いてきたこの合唱祭ですが、町村合併で甲賀市、湖南市になってからも一つの団体として「かふか合唱祭」と名前を新たにし、続けてこられました。来年は40周年を迎え、再来年の夏には40周年を記念する大きな音楽祭を企画しているそうです。

地域の皆さんに合唱の楽しみを伝えるために長く続いてきた合唱祭、人生の楽しみを見つけるきっかけになるかもしれません。一度合唱の世界を覗いてみてください。



▲日頃の練習の成果を披露